

国際ロータリー会長：バリー・ラシン

「インスピレーションになろう」

第2560地区ガバナー：川瀬 康裕

「自らのストーリーを作しましょう」

会 長：高橋研一

「将来みんなのためになること

これからのロータリーのために

力を込めて課題にチャレンジしよう！」

幹 事：松山浩仁

S A A：外山裕一

三條北ロータリークラブ週報

例会日2018. 10. 9 累計No.1519 当年No.13

例会日：火曜日 12:30～13:30

例会場：三條ロイヤルホテルTel34-8111

事務局：三條市本町 3-5-25 三條ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX0256-35-7488

HP: <http://www.sanjo-nrc.org>

本日の行事：「ライラ研修報告会」

- ◆本日の出席：63名中31名
- ◆先々週の出席率：63名中57名 90.47%
(前年同期 89.23%)
- ◆9月の出席状況：63名・例会数4回
平均出席率 83.33%
前年同月 85.0%
- ◆本日のゲスト：ライラ研修生
菊池大樹 君、石月慎也 君

◆先週のメイクアップ（敬称略）：

10月4日地区ゴルフ大会

中原尚彦、樋口 勤、白倉昌夫、森 宏
渋谷義徳、早川瀧雄、坂内康男、米山忠俊
高橋研一、松山浩仁、梨木篤史、丸山 勝
田口実仁佳、斎藤良行、石川一昭
武田恒夫、岡田大介、佐藤弘志、佐藤義英
今井克義、岡田 健、落合益夫、石丸進

4日三條東RC

田中耕太郎、山崎勲、高橋彰雄、石川友意

4日加茂RC

樋口勤

6日認知症セミナー

小林繁男、佐藤秀一、渋谷義徳、高橋研一
羽賀一真、早川瀧雄、吉田文彦

9日社会奉仕事業打合せ

佐藤秀一、田中耕太郎、高橋研一、
松山浩仁、外山裕一、佐藤義英、瀧岡 茂
本田芳久、石川友意、羽賀一真

29日・30日ライラ研修

石丸 進、高橋研一

* 本日の配布書類等

- ・週報No.1518
- ・10/23夜例会案内(出欠確認)
- ・ガバナー月信 10月号(閲覧用)

会長挨拶：高橋研一会長



みなさん、こんにちは。
第13回目の挨拶は、9月29日(土)30日(日)に上越市の直江津で開催された第18回ライラ研修の報告をします。テーマは「若者が考える、地域観光は」について地域の若いリーダーを育てるというライラの考え方から、本年も若者が考える場を提供するということを考え、今日のテーマとしました。その研修内容については、研修生の石月慎也君と菊池大樹君に話していただくことにします。

直江津ロータリークラブの山田会長はじめ会員の方からは、とても親切なおもてなしを受け、楽しい時間を過ごすことができました。

10月4日(木)、地区大会記念ゴルフが湯田上カントリークラブで行われました。佐藤義英会員及びお手伝いの方は早朝から準備していただき、大変お疲れ様でした。

10月6日(土) 地場産業振興センターリサーチコアに於いて、ロータリー奉仕プロジェクト委員会による、「認知症を知るセミナー」が行われました。九州の佐世保から来られた若年性認知症を患われた弥久保忠男様が経験をお話しされ、その後、質疑応答がありましたが、一番聞きたいと思っていた意見交換や、今後それぞれの企業や各自ができる支援・取り組みについての意見交換は触れずに終わりました。

10月7日(日)の赤い羽根街頭募金の協力は、台風の影響で中止になりました。早いもので3ヶ月余り過ぎた今、本年度の計画の社会奉仕事業、職業奉仕事業はプラン通りに進んでいますが、その他の重要項目についてはまだまだ見通せず、プランも行動も大変困難になっています。皆様方のご協力を今以上にお願ひします。

10月7日(日)の赤い羽根街頭募金の協力は、台風の影響で中止になりました。

早いもので3ヶ月余り過ぎた今、本年度の計画の社会奉仕事業、職業奉仕事業はプラン通りに進んでいますが、その他の重要項目についてはまだまだ見通せず、プランも行動も大変困難になっています。皆様方のご協力を今以上にお願ひします。

幹事報告：松山浩仁幹事

- ・川瀬ガバナー事務所より
川瀬ガバナー休養延長のお知らせと公式訪問のお願い
地区大会記念ゴルフ大会の御礼
地区大会実参加人数確認のお願い
- ・分水ロータリークラブより
IM報告書送付について（受付にあります。）
- ・新潟中央ロータリークラブより
グローバル補助金プロジェクトへのご参加とご協力のお願い
- ・地区米山奨学生学友会総会開催のご案内
日時：11月17日(土) 会場：ホテルオークラ新潟 4F コンチネンタル
- ・三条市特別支援教育研究協議会より
ウィンターフェスティバルのご案内
日時：12月6日(木) 9:30～ 会場：三条総合福祉センター
平成30年度懇親会のご案内
日時：12月6日(木) 18:00～ 会場：ジオワールドVIP
- ・三条ローターアクトクラブ「11月第一例会」のご案内
日時：11月8日(木) 19:30～ 会場：三条燕地域リサーチコア 4F
- ・三条ロータリークラブより 五十嵐昭一会員の訃報が届いています。



委員会報告：

社会奉仕委員会 18日の二胡コンサートでは各委員会毎にお仕事願いますので、ご協力お願い致します。23日の夜例会は社会奉仕事業反省慰労会です。18日ご出席されない方も是非ご出席いただき、意見交換の上親睦をはかりましょう。



ロータリー財団ボックス：9日現在累計69,000円

大野 新吉君 財団に協力して!!本寺小路あかり物語での東別院ライトアップと、三条幼稚園・保育園の“あんどん”の多くの作品と昔なつかしい鯛車と“六角風のあんどん仕立て”で会場は、園児・親・爺ちゃん・婆ちゃんで大盛況でした。

福岡 信行君 協力します。

今井 克義君 //

渡辺 徹君 //



米山奨学ボックス：9日現在累計164,000円

花井 知之君 協力いたします。

森 宏君 昨日は新潟シティーマラソン、のんびりと完走して来ました。



スマイルボックス：9日現在累計225,000円

羽賀 一真君 ライラ参加者の方、お疲れ様でした。

刈岡 茂君 梨木さんに協力。

早川 瀧雄君 ライラ研修生のみな様、卓話よろしく願います。渡辺はま子さん、お元気そうで喜んでいます。

石丸 進君 今日は先日のライラ研修の報告をさせていただきます。よろしくお願い致します。



石川 友意君 ライラ研修、ご苦労様でした。
佐藤 義英君 先日の地区大会親善ゴルフに朝早くから夜遅くまでご参加いただき、お手伝いしていただき大変ありがとうございました。あとは結果を楽しみに!!
梨木 篤史君 今週木曜日は、会員増強・親睦交流ゴルフコンペ頑張ります。

本日の行事：「ライラ研修報告会」

青少年奉仕&ライラ委員会 石丸 進 委員長



みなさんこんにちは。

9月29日30日と2日間ホテルセンチュリーイカヤにおいて、ホストクラブ直江津RCのもとライラ研修に参加させていただきました。参加したのは私と会長、石月君と私どもの社員の菊池君との4名でございます。

初日は上越水族館館長様よりご講演いただきまして、現在45万人の来客数があるそうですが、課題は「大人も楽しめる水族館」というものでした。

2日目は上越ときめき鉄道の社長様よりご講演をいただきました。課題は「赤字経営からの脱却」。観光列車に力を入れることにより首都圏からの観光客を、地域一体となって増やしていこうということに非常に力を入れて、今現在赤字脱却に努めているということでした。

2日間会長とライラ研修生2名と同行させていただきました。いろいろな産業のご苦労なり創意工夫を見させてもらって、また考えさせてもらう機会を与えていただきましたことお礼申し上げます。ありがとうございました。

(株)サルーン 菊池 大樹 君



みなさん、こんにちは。

はじめまして、(株)サルーンの菊池大樹と申します。この度ライラ研修に参加させていただきましたこと感謝しております。ありがとうございました。

ライラ研修は「若者が考える地域観光は」をテーマに開催されました。

最初若者が考える地域観光はということで、僕が住んでいる長岡・三条地域は花火や洋食器など県外の方々に自慢できるようなものということで、そういうものを考えさせられる研修でした。具体的にどのようなことをしたかといいますと、上越水族館の館長様から、どれくらいの来場数・どれくらいの飼育数などの説明を聞き、裏側なども見せていただきました。市が運営されている水族館ということでの苦労されている話を聞きました。

裏側を見せていただいた際には、飼育員さんが大変な思いをして1匹1匹愛情をこめて育てているということで、とても感心しました。その後、昼食をとりイルカショーを見たり意見交換する場がありました。懇親会ではいろいろな企業の方々と交流させていただきました。仕事の楽しいところ大変なところ等お話しできて有意義な時間となりました。石月さんと高橋会長と当社の社長と一緒にお酒を飲みながらありがたいお話を聞かせていただいて、今後の勉強になりました。

翌日の30日は地引網体験が予定されていたのですが、台風の影響で中止となってしまいとても残念でした。しかし、その時間も他の研修生との交流ができて有意義に過ごすことができました。越後ときめき鉄道の方のお話では、良い鉄道ですが、普及がされていなく赤字ということで、今後どれだけプッシュできるかとのお話でした。僕は飲食店でステーキ屋に勤めておりますが、どれだけのお客様に味わってもらえるか、どれだけ感動してもらえるかっていう事を日々思っている営業しているので、そういった面で同じ様にお客様に満足していただけるようなことを、どれだけ一緒に作れるかということで、良いお話だったと思います。

そして昼食後、解散となりました。

今回、ライラ研修ということで、いろいろな会長さんや研修生とお会いでき、自分ではとても人間として成長できたかなと思います。僕はまだ社員の立場で未熟者ではありますが、今回の研修を生かして、今後どのように成長できるかということに繋がたらと思います。若者が考える地域観光はということで、どういうものが理想かと考えたときに、地域をどれだけ愛せるか、地域の人とどれだけ信頼が築けるかということから始まると思います。それから、地域観光・町おこしを行って、いずれは県外の方々にも、どれだけ自分達の地域を愛してもらえるかを考えて行うことが一番良いと思いました。お聞き苦しい話となってしまいましたが、私の報告はこれで終わります。ありがとうございました。

(株)三共電機 石月 慎也 君



皆さん こんにちは。

(株)三共電機の石月慎也と申します。先日、9月29日、30日に上越の直江津で開催

された国際ロータリー第 2560 地区、第 18 回ライラ研修に三条北ロータリークラブ研修生として参加させていただきました。そこで学んだことや感じた事を発表させていただきます。

まず簡単にですが私の職務経歴から自己紹介させていただきます。

(株)三共電機には今年の 4 月に入社致しました。それまでは約 13 年間飲食店で働いていました。結婚して長女が生まれ、仕事と家庭においての両立のバランスが変化したことや、自分のスキルアップも含めて 32 歳での転職を決意致しました。電気の仕事には以前から興味があったのですが高校も普通科を卒業したので電気についての知識や経験はまったくの素人です。そんな私でしたが以前よりお世話になっていた高橋会長のご厚意でこちらの会社で働かせていただけることになりました。仕事のことはもちろんですが、家庭のことや生活面においても気にかけてくださり、本当に感謝の思いしかありません。

7 月には電気工事士二種の国家資格も取得したので仕事に繋がる自信も得ました。30 代は企業では中堅クラス以上の役割を持つ年代です。1 日でも早く仕事を覚え、会社に貢献して会長に恩返しすることが今の私の目標であります。

本題に入りますが、今回の研修テーマは「若者が考える、地域観光は」という内容で 2 日間開催されました。総勢 79 名の 10 代、20 代の若い研修生の仲間に入り、それぞれ異業種ではありますが各地域において活躍されている人達の間にいるだけでもとても刺激のある時間でした。

研修を通じて感じた事は大きく分けて 2 点です。まず 1 点目は参加した研修生が皆さん、本当に笑顔が素敵で、何より積極的に仲間の輪を広げていこうと明るい雰囲気であふれていました。これはどんな仕事においても共通することで、お客様、同僚スタッフ、関係者、様々な人との繋がりの中で自分を信用していただく、気に入っていただく、それがとても大切なことだと改めて感じました。青少年奉仕委員長、佐藤さんのお言葉で「リーダーになる為にはまず自分が魅力的な人間になることからです。じゃなきゃ人は絶対についてこない。」というお話がありました。私自身も今までを振り返れば、やはり人が集まる人には何かしらの魅力が溢れていて、自然とその人の言葉や言動を真似したくなります。自分もああ

なりたいなあ…と思わせてくれます。ただ勉強ばかりして頭でっかちになるよりも、新しいものに触れ、実際に肌で感じ、経験をした分、自分に魅力のようなものが自然とついてくるのかなあと思います。

本日もこのような発表の場を用意していただき、緊張していますが、この緊張する時間も自分にとっての大きな財産になることと思います。ありがとうございます。

2 点目は、今回の研修テーマ「若者が考える、地域観光は」を 2 日間考えてみましたが、そこで

わかったのは、今までいかに自分の地元のことを知らなかったか、考えてこなかったか、ということです。「新潟県がよくなるには何が考えられますか?」「あなたの生活圏の良い点、悪い点は何ですか?」等々、いくつかの質問がありましたが、考えてもなかなか浮かんできませんでした。どうしたら良くなるか、ここを考えるにはやはりまずは地元を知ることから始めなければいけないと思いました。三条の歴史、産業の発展、地域に住む人の特性、調べていくほど、興味が湧いてきます。三条の金物が全国でも有名なのは知っていますがその背景はどんな内容なのか。これから私の取り組みたいテーマになりました。講演をしていただいた上越市立水族博物館「うみがたり」の櫻館長、えちごときめき鉄道(株)の嶋津社長、このお二方は今の上越地域観光を盛り上げる最先端にいるお二方でした。水族博物館は実際に見学しに行きましたが、中の通路はすれ違い出来ないくらい大勢のお客様で賑わっていました。

ここに至るまでの長い年月をかけた下積みあってこそその結果だと感じました。一度や二度のチャレンジで結果が出れば苦労しない。100 回やってみて、ダメなら 200 回、それでもダメなら 500 回、1000 回とやってみる。とにかく我慢することが結果を出す近道です。というお話が心に残りました。ときめき鉄道社長は講演の最後に「今の若者はコミュニケーションがとても下手くそになった。エネルギーが足りない」という直球の想いをぶつけてくださいました。まわりを見渡せば、スマートフォンを持って下を向いている人がほとんどのこの世の中です。そういう私自身もそのうちの 1 人です。知りたい情報はすぐに調べられますし、何か用があれば直接会わ



なくても、声を聞かなくても連絡が取れます。便利さが進化し続ける半面、人間としての見えない大切な何か、あたたかみといえますか、逆に衰えてきているように感じます。物が豊かになり、満たされている環境では、やはりエネルギーといえますか、ハングリー精神はなかなか養えない現状があります。少子高齢化もますます加速し、これから若者1人1人により一層の未来、社会性が求められる時代になることだと思います。

今の自分にまず、何から始めることができるのか。周りの人達と一緒にそれぞれの生活圏を盛り上げていくには何が必要か。そんなことを考えるきっかけになった、今回のライラ研修でした。地域の発展に必要な不可欠なのは自然の財産でも、特産物でもなく、そこに住む「人」に魅力だと私は思います。魅力ある「人」が脈々と続いてゆく限り、どんな社会になってもきっと幸せを感じることができると思います。自分の子供、また孫の世代、そのまた更に次の世代まで、人と人が助け合う社会を忘れていけないように心から願います。

またそうである為に、自分にやれることはまずは仕事での関わる全ての人に笑顔で、元気良く、お客様に良いものを提供することを全力で取り組んでいきます。そして、今の現状に満足せずに新しいことをどんどんチャレンジしていく精神で、自分の器を大きく、深く、広げて続けていきます。最後になりますが、今回の研修に参加させていただいた高橋会長はじめ、本日の発表の場をご用意していただいた三条北ロータリークラブの皆様我心から感謝し、研修のまとめと致します。ありがとうございました。

石丸 進 委員長

今、菊池君と石月君の若い人の感性ある発表を聞き良かったと思っています。

水族館のお話をさせていただきますが、水族館という所は一生のうちで、自分が結婚した時、子供が生まれた時、孫が生まれた時の平均3回しか行かないらしいんですね。3回しか行かないため来客数を伸ばすことが難しいといった経営事情があるらしいです。そういった状況の中、水族館の方々はその3回を何とか4回・5回にすることで売上を2割3割伸ばすことに苦労されているということでした。そのためどういったことを考える必要があるのかということ、それは子供が喜ぶ水族館ではなくて大人が喜ぶ水族館を考え、どうしたら大人が何度も足を運ぶ水族館にできるのかを課題にして悩み・実行しているんだと。結婚してからで

はなく、結婚する前のおつきあいの段階・デートの段階で来てもらいたい、まだ子供がいない若いカップルに来てもらいたいと話しておられました。もう一つはときめき鉄道ですか、在来線の赤字経営を脱却するためにどういった手法をとっているかということ、観光列車に力を入れ、観光をしてもらう中で新潟県の素晴らしい料理を味わっていただくといった工夫をしていらっしゃるようですが、これまたたくさんの苦勞をされていましたが、要は、電車は足としての機能ばかりではだめなんだと首都圏からの来客を見越した1人16,000円位からの高級ないわゆるステイタスを求めた中年層・60代・70代の方に力を入れないと経営が成り立たないんだとおっしゃっていました。ターゲットを変えれば活路を見いだせるのだということでした。

こういったことを、地域観光のお話を聞かせていただいていたところでございます。



高橋 研一 会長

今回の報告会は思った以上の有意義な報告となりました。ありがとうございます。

私は、石月慎也君には会社でも朝礼時には自分から積極的に話や報告をするようにと伝え、報告に関しては、毎日のようにしているはずであり、こうした場所でもうまくお話しできたことを誇りに思いました。

会社もヒーローが必要なので、会社に戻ったら、看板までとは言いませんがヒーローになるつもりで将来に夢を掲げて、もう一つ二つ三つくらい飛躍して頑張ってください。今回のライラ研修もあなた方の糧になれば、あなた方を選んだことをとても誇りに思います。

直江津での昼間の勉強会や夜の懇談のこと、何かこの先ぶつかったときネガティブにならずに逆転の発想でポジティブに物事を考え、笑顔でお客様に接し、楽しい人生だといわれるように、また言えるようになってもらいたいという思いでいます。ありがとうございました。



◆ RI2560 地区 奉仕プロジェクト事業「認知症を知るセミナー」

10月6日於：燕三条地場産業振興センター

会長はじめ7名の方が参加されました。

また、羽賀職業奉仕委員長、坂内委員、本間委員は当日のお手伝いをしていただきました。



◆ 地区大会記念親睦ゴルフ大会

10月4日於：湯田上カントリークラブ

地区の中で一番多く参加していただき、
早朝から4名の方々にお手伝いいただきました。

